



頑張った私にありがとう



国	籍	インドネシア
職	種	介護
実習実施者		社会福祉法人昭徳会
監理団体		Jプロネット協同組合

ハニ フェリアンティ
HANI FERIAN TI

現在、私は特別養護老人ホームで介護員として働いています。私の国にはこういう施設がありませんので、介護のことを勉強しに来ました。

初めて仕事する時は緊張しすぎて他の職員や利用者さんとコミュニケーションがあまり取れなかったです。そして、指示や申し送りなどがはっきり理解できなくて、私にはこの仕事が無理だと思ってしまいました。でも、もうここにいるので頑張るしかなかったです。

ある日、車椅子に乗っている利用者さんに対してトイレ介助をしました。利用者さんが「いつも優しく声をかけてくれてありがとうね。」と言いながら笑顔を見せてくれました。私は感動して、嬉しいと感じました。これをきっかけに介護の勉強だけではなく、利用者さんともっと上手に会話できるように日本語の勉強も続けたいと思うようになりました。

ある時、JLPTのウェブサイトで日本語能力試験があるという情報を見つけました。私は三級の日本語能力の証明書を持っています。今度私は受けたいと思ったのですが、自信がなかったです。でも、日本語の先生になりたいという目標もできました。立派な先生になるため

には、二級の証明書が必要だと思います。またある時、施設にいる指導員へアドバイスをもらいに行きました。指導員が「ハニさんならできます。失敗しても、失敗することが良い勉強になるので受けたほうが良いと思いますよ。」と言いながら応援する姿を見せてくれました。このアドバイスを聞いて私の心の中にやる気が出てきました。何もしないで後で残念に思うぐらいなら、失敗してもやってみたほうが良いと思うようになりました。よく考えた末に、試験を受けることに決めました。

それから、毎日勉強するようになりました。しかし、仕事で帰りが遅くなることもあり、疲れるし、眠いし、勉強を途中でやめなくなることもありました。ある日、我慢できずに母へ連絡をしました。その時、母は「仕事しながら勉強するのは大変ですね。でも、途中でやめたら無駄なことになるかもしれないよ。仕事と勉強を頑張ってくださいね。」と言ってくれました。母が応援してくれた言葉のおかげで、勉強する意欲がわいてきました。

受験が終わって何日か過ぎ、合格発表が来ました。私の受験番号に「合格」と書いてありました。うれしさのあまり涙が出てきました。私のうれしい理由は試験に合格できただけではなく、勉強を頑張れたからです。

「頑張った私にありがとう」

今の私は気軽に他の職員とコミュニケーションが取れて利用者さんともよく会話できるようになりました。

私の夢である日本語の先生になるために、私はこれからもずっと、仕事も勉強も頑張っていきます。応援してくれる皆さんのためにも、自分のためにも。